

## 2022年度 南千住駅前保育所における自己評価

自己評価の観点	評 価			
	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
1、園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について ①会の保育理念、園の保育方針、保育目標を理解し、かつ課題を共有している	3	23	1	0
2、保育について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	3	22	2	0
②年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	3	24	0	0
③評価、資料(諸記録)を集積している	6	21	0	0
④園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	4	19	3	0
⑤気候や子どもの活動に合わせ、温度・湿度・喚起・照度など配慮している	5	20	2	0
⑥季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	5	19	3	0
⑦子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	7	19	1	0
⑧それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	4	22	1	0
⑨保育についての話し合いをよくしている	7	17	3	0
⑩保育士自身が楽しんで保育をしている	2	19	6	0
⑪それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	2	15	9	1
3、健康管理について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体制に合わせた保育を心がけている	5	20	2	0
②玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	6	16	5	0
③乳幼児突発死症候群(SIDS)や感染症の予防の対策やマニュアルが用意されている	9	18	0	0
4、行事について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①行事の種類や実施回数は適切である	6	11	10	0
②行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	3	20	4	0
5、食育について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①食育を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	5	19	2	0
②旬の物や季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	7	16	3	0
③調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	7	19	0	0
6、運営について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	3	17	4	2
②各種会議を適切にかつ効率的に進めている	2	15	7	2
③打ち合わせ回数、時間、内容は適切である	2	12	9	3
7、保健・安全指導について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	2	23	1	4
②避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	3	20	3	0
③事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	2	20	4	0
④廊下に落ちていたものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	5	20	1	0
⑤室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	5	17	3	1
8、研修・研究について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①実践研究に取り組み、日常の保育を生かし、子どもの育ちに反映させている	2	23	1	0
②部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	3	19	3	1
③研修報告を園内で実施している	5	14	6	1
9、情報について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	6	20	0	0
②園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	7	19	0	0
③各表簿は、適切な時間・方法でさくせい・処理している	4	18	3	1
10、設備について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	5	20	1	0
②掲示板、掲示場所等を適切にかつ効果的に活用している	3	21	1	0

11、保護者支援について

- ①子どもの送迎時に子どもの様子を伝え合うようにしている
- ②クラス懇談や個別懇談を行っている
- ③入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的を分かりやすく説明し、情報提供を行っている
- ④保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている

A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
7	18	1	0
10	16	0	0
6	20	0	0
6	20	0	0

12、開かれた保育所づくりについて

- ①園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している
- ②職員による育児に係わる「子育て相談」は充実している
- ③医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している
- ④中高生の職場体験や実習生の受け入れを体制について、その意識や方針を全職員が理解している
- ⑤来客や地域の方に明るく挨拶をしている

A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
4	19	2	1
0	23	2	1
2	22	2	0
1	21	4	0
7	19	0	0

13、情報発信について

- ①園だより、すこやかネット等で、情報発信に努めている
- ②行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している

A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
5	20	1	0
4	17	5	0

14、総括

評価が高い項目で引き続き意識を高めていきたい点

- ・各保育士が心掛けていることを伝え合う
- ・クラス内での話し合いの充実を他クラスと話し合い、全体会議にも繋げていきたい
- ・子どもに寄り添った保育内容の醸成
- ・子どものための保育、保育士間の連携促進
- ・子どもたちが心地よく、楽しく過ごせる環境づくり
- ・学年や性別に関係なく一人ひとりへの手厚い保育ができるよう職員全員が状況把握できるシステム作りを考えていく
- ・新年度でメンバーが変わっても、職員同士協力し合い、よりよい保育を目指したい
- ・保護者とのコミュニケーションを密にして相談しやすい関係を構築する
- ・掲示板等を有効活用し、園での様子を保護者へ発信する
- ・職員全体で清掃や消毒を実施し、大人も子どもも心地よい安心安全な園としての環境を引き続き意識していく
- ・子供の健康や安全に関わる緊急時に適切な対応が出来るよう、学びを深めたい
- ・クラスミーティングの時間を設け、子どもや保護者について担任間で共有を図る
- ・情報発信はデジタル化も進み共有しやすくなったため今後も続けていきたい
- ・感染症対策から、健康、衛生管理をしっかり出来るようになったので維持していく
- ・子どもも保育士も楽しく過ごせる場になってきているので、さらなる工夫をしながら保育の質を高めていく
- ・保護者との連携を引き続き意識し高めていきたい
- ・慢心する事なく、何故高評価なのかを分析しそれを苦手な部分に何故応用できないのかを知る
- ・日々笑顔で子どもたちが楽しく過ごしていける保育充実の為の努力と能力の習得を図る

今後さらに向上を目指す点(改善点)

- ・保育士同士がコミュニケーションを多く取れる環境作りと子どもたちの声を聞ける活動決め
- ・会議の内容、時間についてより充実したものになるように見直していく
- ・乳児クラス、幼児クラスの連携
- ・職員間の情報共有
- ・コロナ禍による自粛行事などが復活していくと思われるため、幼児期の娯楽教育の巾を広げていきたい
- ・保護者が送迎時やコードモン等で、家での様子や悩みを話して下さるので、引き続き安心・信頼できる関わりを続けていきたい
- ・職員の意識向上改革
- ・会議等で得た保育の情報を園内で共有し、活用していきたい
- ・新人の教育により力を入れたい
- ・地域との繋がりを広げたり深めたりしていくことで開かれた保育園を目指していく
- ・一人であることが多かったり、なかなか遊びに加わらない子が保育園で過ごすことを楽しんでくれるよう、工夫していきたい
- ・情報共有のスピードアップと本部との連携強化
- ・コロナの影響もあり、保護者が来園する機会が少なかったため、感染状況を鑑みつつも少しずつ保護者参加の行事を増やしていきたい
- ・コロナ禍から、通常に戻すに際し、特に行事への取り組み、保護者への理解、日々の保育の充実など、一つ一つ検討していく必要がある
- ・遊びマップやドキュメンテーションの見直し
- ・コロナ渦終息後は地域との交流を活発化させたい